



## ベテルギウスの減光

石川勝也（開成学園）



日時：（左）2017年1月22日 21:43

（右）2019年12月24日 22:24

機材：Canon EOS 6D 35mmF2→2.8 ISO1600 60秒，赤道儀で追尾，ソフトフィルター使用

撮影地：千葉県南房総市

（比較のため画像処理はしていません）

ベテルギウスが大きく減光しているという知らせを聞いたので、過去の写真を掘り起こし、それと同じように撮ろうと計画しました。

3年近く前に南房総で撮影したものが見つかったので、場所、カメラとレンズ、フィルター、撮り方と構図、すべて同じようにして撮影しました。天候も含めてほぼ同じような条件で撮影できたのは幸運でした。

さて、比べてみると、3年前はベテルギウスがリゲルと同じくらいの明るさでしたが、今回はそれより明らかに暗くなっています。

右上のアルデバランと比べてもやや暗く、ベテルギウスのすぐ右にあるベラトリックス（1.6等）とほぼ同じ明るさになっています。

もともと変光星ではありますが、「2等星」にまで暗くなったのは珍しいことです。

教室でこの画像を見せて説明したところ、多くの生徒が興味をもってくれました。

高校生は「なんでですか？」「今後どうなるんですか？」という反応が目立ちましたが、中学生の、「テストに出たらどう答えるんですか？」という反応が気になりました。つまり、受験でよく出る「オリオン座の1等星の名前を2つ答えなさい」というような問題が成り立たなくなってしまうわけです。

しかし、理科は覚えるだけのものではなく、考えたり理解したりすることが重要だと言っているのに、ちょっと情けないですね・・・。